

山形市野草園だより



ご来園に感謝を込めて

11月になり、山形市野草園はすっかり秋の装いです。これまでの花の紹介に代わり、今月号は果実や紅葉・冬芽等に多くの紙面を費やしています。

さて、山形市野草園は、12月より来年3月末までの4か月間、冬季休園となります。そして今年も、山形市内はもちろん、山形県内そして県外から大勢の方々にご来園いただきました。感謝申し上げます。「実家に帰省した時はいつも来ています」「ずうっと来たかったが、やっと来ることができました」等の嬉しいお言葉をいただくこともありました。ありがとうございました。

令和7年2～3月は、開園に向けての事業も計画していますので次頁以降やホームページをご参照のうえ、ふるってご参加くださるようお願いいたします。

自然と人間の共生 山形市野草園

上記は、今年の『野草園だより』の表紙です。
1段目、左から4～6月号
2段目、左から7～9月、
3段目、10月号

山形市野草園 山形市大字神尾 832-3
電話 023-634-4120

野草園は **SUKSK** のポイント対象施設です



11月の予定

◆開園期間

- 開園期間 4/1(月)～11/30(土) 9:00～16:30(入園は16:00まで)
- 休園日 毎週月曜日(ただし 月曜日が祝日の場合は翌平日)
*11月の休園日: 11/5(火)、11/11(月)、11/18(月)、11/25(月)
- 冬季休園 12月～3月

◆野草園は SUKSK ポイント対象施設

- 内容 専用のスマホアプリで二次元コードを読み取るかポイントシールを受け取ることで、1回の来園で500ポイント付与(1日1回まで)《詳細は「山形市 健康ポイント スクスク」で検索》

◆ガイドウォーキング

- 実施日 毎週日曜日・祝日 1日2回実施
*11月の実施日: 11/3(日)、11/4(月)、11/10(日)、11/17(日)、11/23(土)、11/24(日)
- 時間 ① 10:30～11:30 ② 13:30～14:30
- 内容 その日の見頃の場所・見頃の植物を案内
- 費用 入園料300円

◆第31回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展

- 期間 10/13(日)～11/24(日)
- 内容 審査の結果入賞した「一般の部」・「小中学生の部」の作品を展示
- 費用 入園料300円

◆バードウォッチング

- 日時 11/2(土) 9:00～11:00
- 内容 園内の野鳥観察
- 申込 先着20人 (定員に達したため、申込みは締め切っております)

◆雪囲い教室(初級者向け)

- 日時 11/2(土)、3(日) 10:00～12:00
- 内容 雪囲いに必要な男結びの習得
- 申込 各日 先着20人 10/20(日)～ 野草園まで電話で
- 参加費 入園料300円
- 持ち物 剪定ばさみ

◆山ヨガ&森林ハンモック体験

- 日時 11/10(日) 9:30～12:00
- 内容 野草園の芝生の上で身体を温めて丈夫にするヨガ体験を実施。終了後、コーヒータイム、その後当園の樹木を利用して疲れた身体と心を癒すハンモック体験を実施。
- 申込 大人 先着15人 10/20(日)～ 野草園まで電話で
- 参加費 保険料、入園料込3,300円
- 持ち物 動きやすい服装(ジャージなど長袖長ズボン)、スポーツシューズ、暖かいウエ

ア、ヨガマットまたはレジャーシート（お尻を置ける大きさのもの）、タオル、マグカップ

12月～3月（冬季休園中）の予定

※日時等変更になる場合もございます。詳細については、広報やまがたやホームページで周知いたしますので、ご確認ください。

◆四季観察会（樹木の冬芽）

- 日時 2/14（金） 9：30～11：30
- 内容 かんじきを履いて樹木の冬芽の様子や動物の足跡を観察

◆動物の足跡を探そう！スノーハイク体験ツアー

- 日時 2/15（土） 10：00～14：00
- 内容 樹木や動物の足跡を観察しながらスノーハイクを用いて周遊

◆冬のお山の雪遊び

- 日時 2/22（土）～2/24（月） 10：00～14：00
- 内容 園内「野草の丘」でそり滑り
※悪天候や十分な積雪のない場合はホームページ等で中止のご案内をします。

◆四季観察会（早春の植物）

- 日時 3/21（金） 9：30～11：30
- 内容 早春の植物の様子や動物の足跡を観察

◆野草園プレオープン

- 日時 3/29（土）、3/30（日） 9：00～16：30
※両日ガイドウォーキングも行います。

◆カフェの営業について

○カフェ「やまぼうし」の営業は10月で終了しました。ご利用いただきありがとうございました。
11月は営業日がないので、ご注意ください。

◆開花した花等の紹介

- 野草園のホームページから観察日記・インスタグラムをご覧ください。
園内の様子や開花状況等をお知らせいたします。
- ホームページ内の「植物検索システム」で園内の植物を検索できます。



▲野草園観察日記▲ ▲Instagram▲

●● 11月～3月の様子 ●●

※教室は昨年の様子



バードウォッチング



雪囲い教室



四季観察会

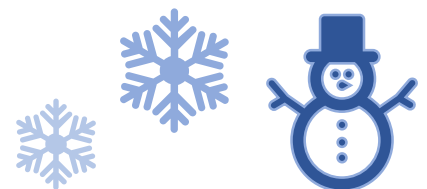


スノーハイク体験ツアー



冬のお山の雪遊び

※2022年度



ここに行けば 会えるよ!



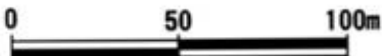
赤い数字 は

次頁以降の解説の番号です

あくまでも目安です
ぜひ、ご自身の目で
探索してみてください
いかがでしょうか!



○数字は 案内標識



- 4 マルバノキ
- 16 カツラ
- 11 ガンシュユ
- 10 ナツハゼ
- 17 水草の池
- 15 奇林の庭
- 15 ログハウス
- 15 ホルダーの庭
- 19 ツツジの丘
- 19 オオバクロモジ
- 19 イタヤカエデ
- 18 オオバクロモジ
- 18 ムラサキシキブ
- 18 ツルリンドウ
- 18 マムシグサ
- 18 七草の庭
- 8 ツルリンドウ
- 8 マムシグサ
- 6 クサギ
- 24 オオヤマザクラ
- 25 ソメイヨシノ
- 17 エノキ
- 3 ジュウガツザクラ
- 21 トチノキ
- 22 ホオノキ
- 12 マユミ
- 14 ヤマモミジ
- 2 キキジョウソウ
- 13 アブラツツジ
- 20 キタコブシ
- 23 マルバマンサク
- 9 ツルウメモドキ
- 15 ヌグスリノキ
- 22 クリソウの谷
- 12 中央広場
- 12 野草の丘
- 9 ツルウメモドキ
- 15 ヌグスリノキ
- 15 ツツジの丘
- 15 ホルダーの庭
- 15 ログハウス
- 15 奇林の庭
- 15 水草の池
- 17 ツツジの丘
- 19 ツツジの丘
- 19 オオバクロモジ
- 19 イタヤカエデ
- 18 オオバクロモジ
- 18 ムラサキシキブ
- 18 ツルリンドウ
- 18 マムシグサ
- 8 ツルリンドウ
- 8 マムシグサ
- 6 クサギ
- 24 オオヤマザクラ
- 25 ソメイヨシノ
- 17 エノキ
- 3 ジュウガツザクラ
- 21 トチノキ
- 22 ホオノキ
- 12 マユミ
- 14 ヤマモミジ
- 2 キキジョウソウ
- 13 アブラツツジ
- 20 キタコブシ
- 23 マルバマンサク
- 9 ツルウメモドキ
- 15 ヌグスリノキ
- 22 クリソウの谷
- 12 中央広場
- 12 野草の丘
- 9 ツルウメモドキ
- 15 ヌグスリノキ
- 15 ツツジの丘
- 15 ホルダーの庭
- 15 ログハウス
- 15 奇林の庭
- 15 水草の池
- 17 ツツジの丘
- 19 ツツジの丘
- 19 オオバクロモジ
- 19 イタヤカエデ
- 18 オオバクロモジ
- 18 ムラサキシキブ
- 18 ツルリンドウ
- 18 マムシグサ
- 8 ツルリンドウ
- 8 マムシグサ
- 6 クサギ
- 24 オオヤマザクラ
- 25 ソメイヨシノ
- 17 エノキ
- 3 ジュウガツザクラ
- 21 トチノキ
- 22 ホオノキ
- 12 マユミ
- 14 ヤマモミジ
- 2 キキジョウソウ
- 13 アブラツツジ
- 20 キタコブシ
- 23 マルバマンサク
- 9 ツルウメモドキ
- 15 ヌグスリノキ

●●●11月に見られる主な植物・紅葉・風景●●● 場所 は見られる主な場所



1 タイワンホトトギス(ユリ科) 吉林の庭北側道路

沖縄県などの亜熱帯地域の山地や森林の湿った場所に自生し、高さは30~50cmになります。和名は、斑点が入る花を鳥のホトトギスの胸の模様に見立てたことに由来します。園芸用に品種改良されたものが多く、いろいろなところで栽培されています。



2 キチジョウソウ(クサスギカズラ科)

マグノリア通り

関東から九州にかけての暖地の林内に生える常緑の多年草です。根生する葉は長さ10~30cm、花茎は10cm程です。吉祥草という縁起のいい名前は、吉事があると開花するという中国の言い伝えからきているようです。野草園では一番遅く開花する草本の花です。



3 シュウガンザクラ(バラ科) 野草の丘

コヒガンザクラの園芸品種で、春(4月)と秋(10~11月)の2回開花します。花は淡紅白色で八重咲きです。名前は「十月桜」で10月頃に開花することに由来します。春に比べ秋に咲く花はやや小さいようです。なお、コヒガンザクラはエドヒガンとマメザクラの交雑種です。



4 マルバノキ(マンサク科) ログハウス裏

関西や四国の山地の谷間などに生える落葉低木です。葉は互生し、卵円形または円形で基部は心形です。秋には美しく紅葉します。葉のわきのごく短い柄の先に、暗紅紫色の花を2個背中合わせに開きます。花弁は5枚あり、星形に平開します。マルバノキはその葉が丸いことに由来し別名ベニマンサクはその花が赤色であることにもとづく名前です。



5 マムシグサの果実(サトイモ科) No.24付近

真っ赤な、まるでトウモロコシの様な形の果実です。少々気味が悪いほどの外見と赤色で毒々しい印象です。初夏には、緑色の蛇が鎌首を持ち上げたような形の花を咲かせていました。マムシグサは全草に毒性があります。特に球根の毒性が強く、汁が皮膚に付くと炎症を起こします。誤って食べると死に至ることもあります。



6 クサギの果実(シソ科) 太平沼東側の東屋付近

日当たりの良い山野の林縁に生える落葉の小高木で、芳香のある白花を多数つけます。花の後、萼はきれいな濃紅色になり、深裂して星状に開き、中央に藍色の果実をつけます。まるで花のような果実です。花も果実も綺麗なのですが、名前は「臭木」です。葉に臭気があることが名前の由来です。



7 ムラサキシキブの果実(シソ科) No.24付近

山野の林内や林縁に生える落葉低木です。葉は対生で、形は長楕円形、先が尾状にとがり基部は狭いくさび形です。夏に淡紅色の小さい花をたくさんつけます。花も美しいですが、果実もまた、紫色でとても美しく見えます。果実は、葉が落ちた後も枝に長く残ります。



8 ツルリンドウの果実(リンドウ科) No.24付近の林道

山地の木陰などに生えるつる性の多年草です。草木にからんで長さ40~80cmになった細長い茎の葉腋に、ラッパ型の花を付けます。花冠が淡紫色で先は5裂し、花冠の長さは3cm程です。対生する卵状披針形の葉は有柄で、葉脈が縦に走るように見えるのが特徴です。果実は液果で、残存する花冠の上に突き出し濃い紅紫色に熟します。



9 ツルウメモドキの果実(ニシキギ科)

ひょうたん池北側道路

日本を含め、東アジア一帯に自生する落葉つる性の木です。初夏に伸びた枝先に黄緑色の花をたくさん付けますが、秋は淡黄色に熟した果実が付いています。それが3つに裂開し、その中から赤い仮種皮に包まれた種子が現れます。その姿がきれいなので、生け花の材料によく使われます。



10 ナツハゼの果実(ツツジ科) ツツジの丘

高さ1~3mの落葉低木で、葉は互生、枝先に長さ4~5mmの鐘形の花を付けます。花弁は浅く5裂し、裂片は少し反り返ります。黒く熟した果実は直径4~6mmの球形の液果で、表面は光沢があり甘酸っぱく食べられます。北海道~九州の山地に分布します。



11 サンシュユの果実(ミズキ科) 吉林の庭

中国原産の落葉高木で、江戸時代に薬用植物として渡来しました。春、葉が展開する前に淡黄色の小さな花をたくさんつけるので「春黄金花」と言われます。秋は果実が赤く熟すので「秋珊瑚」という別名があります。果肉を乾燥したものを強壯強精などの薬用に、果実を果実酒に利用します。



12 マユミの果実(ニシキギ科) 自然学習センター西

普通は3~5m程の落葉小高木ですが、稀に10m程にもなるものもあるようです。春から初夏にかけて緑白色の小さな花を付けます。秋には1cm程の大きさの倒三角形の蒴果を付け、10月頃になると4裂した中から橙赤色の仮種皮に包まれた種子が見えるようになります。枝がよくしなり、弓を作るのに適していたことが名前の由来となっています。



13 アブラツツジの紅葉(ツツジ科) マグノリア通り

山地に生え、よく枝分かれする落葉低木です。葉は枝先に輪生状に集まってつき、倒卵形です。6月頃枝先に淡緑色の花を総状に吊り下げます。ドウダンツツジの仲間は鮮やかな赤色に紅葉しますが、そのひとつが本種です。葉の裏に光沢があり、油を塗ったように見えることが名前の由来です。



14 ヤマモミジの紅葉(ムクロジ科) No.④付近

北海道や日本海側に多い落葉小高木です。葉は対生で、掌状に深く5~9裂し、縁は重鋸歯になっています。園内で最も多いカエデです。紅葉は葉が赤くなるもの、黄色くなるもの様々あり、変異の多い樹木です。



15 メグスリノキの紅葉(ムクロジ科)

料金所南円形花壇

高さ10mにもなる落葉高木です。樹皮を煎じて洗眼に用いたのでメグスリノキと呼ばれています。対生する葉は三出複葉で、小葉は5~10cmの長楕円形です。春、枝先に付く白色花はあまり目立ちませんが、秋は見事に紅葉します。よく見ると葉柄などに細かい毛が密生します。



16 カツラの黄葉(カツラ科) 東トイレ周辺



カツラの木が落葉すると、周りには甘い匂いが漂います。木の周りにはハート形の落ち葉がたくさんあり、黄色の葉が茶色になり始めると、砂糖をこがしたような香ばしい匂いを出します。



17 エノキの黄葉(アサ科) 大平沼西側道路



山野の湿った場所に生育する落葉高木で、葉は基部から長く伸びる葉脈が目立ち、先半分には鋸歯があります。昔は一里塚の目印として街道沿いに植えられ、今でもその大木が見られる場所があるそうです。



18 オオバクロモジの黄葉(クスノキ科)

ハーブ園北側交差点



本州～九州に分布する雌雄異株の落葉低木です。葉や枝には芳香があるのが特徴です。この時季、葉が鮮やかな黄色に染まります。



19 イタヤカエデの黄葉(ムクロジ科)

スワンヒルの庭北



山地に生える落葉高木で、葉は対生し掌状で5～7に中裂～浅裂し、裂片の先端はとがります。秋に黄色く色づくカエデの代表です。



20 キタコブシの冬芽(モクレン科) マグノリア通り



枝先に寒さをしのぐため白い毛で覆われた冬芽をつけます。側に葉の冬芽もあります。4月になり暖かくなるとその冬芽から白い6枚の花弁の花が咲きます。



21 トチノキの冬芽(ムクロシ科) 野草の丘



枝先に茶色の冬芽をつけています。表面は樹脂で覆われ、粘性があり触るとペタペタします。5月に花が咲き、100個以上の花が付く花序をつくります。



22 ホオノキの冬芽(モクレン科) 自然学習センター西



灰色のキャップ状の芽鱗に包まれています。5月になるとそれが径20cm以上の白い花になります。萼と花卉の区別は明瞭ではありません。雄しべの花糸は赤く、雌しべは円錐形に集まっています。



23 マルバマンサクの冬芽(マンサク科)

マグノリア通り



丸い部分が花芽、尖っているところが葉芽です。春に先駆けて「まず咲く」のでマンサクといわれていますが、2月頃には花芽が黄色くなり始め、春の訪れを知らせてくれます。



24 オオヤマザクラの冬芽(バラ科) 野草の丘北



野草園のシンボルのサクラです。今は枝先に、寒さを防ぐために茶色の芽鱗で覆われた冬芽をつけています。茶色の芽鱗にはソメイヨシノのように短毛がなくスベスベしています。



25 ソメイヨシノの冬芽(バラ科) 野草の丘東



エドヒガンとオオシマザクラを交配してつくられたサクラです。冬芽は、芽鱗が8枚程度で毛が密生しています。花芽の方が葉芽よりぷっくりしています。